



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1894号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL (055) 972-2122  
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

## 第1957回例会

2012.11.22晴

### 司 会

三田明宏君

### ロータリーソング

「それでこそロータリー」  
指揮 前田博利君

### 会長挨拶

副会長 野田和秀君

11月18日の地区大会には、会長、幹事の他17名の会員の方々に参加して頂きました。会長にかわりまして御礼を申し上げます。前日の雨天とはうって変わり、素晴らしい秋晴れの中、千玄室 R I 会長代理のアドレス、記念講演を聴けて幸いでした。地区大会の報告は後日渡辺会長からして頂くこととして、今日は、去る10月13日に静岡グランシップで行われた地区職業奉仕セミナーに玄角、田熊両会員と出席した際の報告を兼ね、高野ガバナーの今年度のロータリー活動への熱い想いをお伝えしたいと思います。前半は、日本理化学工業株の大山泰弘会長の「皆勤社会への提言」～知的障害者に導かれた企業から～という講演でした。この会社は社員74名中55名が知的障害者で、坂本光司教授の著書「日本で一番大切にしたい会社」に取り上げられている会社ですね。職業奉仕を云々するより「この会社を見よ!」と云われている、そんな気がしました。後半は松宮剛 R I 理事の職業奉仕についての基本的な理解を促すような講演でした。私の目に留まったのは、The ideal of service を奉仕の理想=奉仕という理想に読み替えをされている箇所です。これまでこういう理解をしなかったので、この前の地区大会の懇親会の席で渡辺脩助パストガバナーの隣で歓談されていました松宮理事に失礼ながら、この読み替えは松宮理事の発案ですかと訊ねましたら、そうだとおっしゃったので、初めて目にするのも領けた次第です。入会間もない頃、入会してバッジをつけたからロータリアンではないのだと教えられても、腑に落ちない気持ちでしたが、奉仕という理想を追求し続けるロータリーが永

遠なように、ロータリアンのあるべき姿もまた道遠しと思えたひと時でした。とにかく今年度の高野ガバナーの強烈な思い入れを実感できたセミナーでした。

### “こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央 R C)

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正率
前々回	35/48	72.92%	44/48	91.67%
今回	40/51	78.43%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、石川君、小野君、勝間田君、栗原君、佐野君、登崎君、長田君、平出君、森崎君、矢岸君

### 幹事報告

幹事 黒田 一君

- ① 12月6日は、理事会、年次総会、卓話を渡辺芳久君にお願いいたします。
- ② 12月13日は夜間親睦例会です。
- ③ 12月20日はクラブ協議会上半期各委員会報告ですので、委員長さんは、報告をお願い致します。
- ④ 12月22日(土)は忘年家族例会です。大勢の参加をお願い致します。
- ⑤ 平成25年1月8日は4クラブ合同新年会です。ホストクラブは伊豆中央 R C で会場は旧名(伊豆洋ランパーク)です。

2012～2013年度  
国際ロータリー会長  
田中 作次

奉仕を通じて平和を

## おめでとう

入会記念日 藤江君  
奥様誕生日 窪田君  
結婚記念日 伊丹君、関本(照)君

## スマイルボックス

- ◆千葉君、先日、中学生の職場体験を受け入れました。中学生にも窪田さんの木材倉庫を見学させて戴き、お世話になりありがとうございました。
- ◆Cテーブル、テーブル会楽しく過ごさせて頂きました。ありがとうございました。皆さんの気持ちです。
- ◆Eテーブル、テーブル会を行いました。楽しいひと時でした。残金をスマイルします。
- ◆Dテーブル、11/20、Dテーブル会を松韻で行いました。7名で楽しく過ごしてきました。伊丹さん、遅くまでありがとうございました。少しですが、残金をスマイルします。
- ◆遠藤(正)君、ここのところホームクラブ出席が少なくすみません。今日も早退になってしまいました。来週も欠席かと思ったら、休会で助かりました。
- ◆千葉君、ごめんなさい。早退します。

## 地区大会報告

平成24年11月17日(土)～18(日)、山梨県甲府市に於いてR I 第2620地区2012年度～13年度地区大会が開催されました。会長・幹事は17日より甲府入り、18日は各委員長、新会員17名が甲府入りしました。高野孫左エ門ガバナー(甲府RC)のあいさつに始まり、2011～12年度表彰の部では米山梅吉記念館寄付金表彰を当三島西RC 渡邊会長が12クラブを代表して受賞致しました。米山功労者は柴崎恵子、関本文彦、前田房江、室伏勝宏、栗原達治の皆様が受賞されました、又、長寿会員表彰(90歳以上)では、小野金彌会員が受賞され大変嬉しく思いました。記念講演は、R I 会長代理の茶道裏千家千玄室氏の貴重な講演に出席者全員が熱心に拝聴をしてまいりました。第2部終了後大懇親会に移り、参加者1494名の発声で乾杯に入り、山梨の食材に堪能して美味しいお酒(ワイン)等で有意義なひと時を過ごせました。



## 卓 話

### 自己紹介

前田博利君

1966年2月18日、前田家の3人目の子供として生まれました。私は長男であり、一人っ子ですが、実は私の上2人の前田家の子供は、現在この世にはおりません。一番上の子供は流産でした。母のお腹にいた時、我が家に泥棒が入り、それを追っかけた母が階段から落ちて流産してしまったと聞いております。生前の父を知っている皆さんであれば、父の落胆ぶりは想像がつくと思います。二番目の子供は男の子、私の兄でした。難産の末生まれたのですが、すぐに亡くなってしまいました。実はその時母はその子の顔を見てなく、父だけが見たそうです。その一年後私が生まれました。そんな大変な思いをしてやっと生まれた、前田家の一人息子。何かあっては困ると両親に大事にされ、甘やかされて、わがまま一杯に育ってしまった現在の私があります。

小さい頃は、いつも母の後ろに隠れていた人見知りの子供でしたが、小学校5年生から少年野球チームに入団し、大好きな野球にのめり込んでおりました。6年生の時には静岡県大会で優勝をした強豪チームでしたが、私自身は最後の最後まで代打専門でした。そんな事があって中学校では、野球はさっさとあきらめ、バレーボール部に入り3年間頑張りました。ただこの当時は余りにも背が低く(前から2番)一応スタメンで頑張ったりもしましたが、あまりパツとしなかった様に記憶しております。そんな訳で、地元の日本大学三島高等学校に入学した時には、スポーツ系の部活はきっぱりと諦め、プラスバンド部に入り、「テナーサククス」を3年間吹きました。このプラスバンドの3年間は本当に一生懸命頑張りました。大学は、日本大学商学部商業学科で、大学での4年間の生活は、皆様には聞くに耐えられない内容となる事必至でございますので本日は割愛させていただきます。

社会人としてのスタートは、箱根にあります、「オーベルジュ・オー・ミラドー」という有名なフランス料理店でした。朝は7時から、夜は12時位まで殆ど一日中立ち仕事。おまけに先輩は殆ど年下。間違えたり失敗したら、蹴られるのが当たり前。と、今では考えられない職場環境でありました。当時初めてもらった給料は、手取りで6万9千円…。時給に換算すると200円に届かなかったと記憶しております。

まだまだ辛かった話は山ほどありますが、今の会社に帰って来るまで頑張れたのは、たった2点だけ。1つは経営者でもありシェフであった、「オー・ミラドー」の「勝又シェフ」の人柄。もう一つは、自分も三島に帰ったら経営者だ。という意地だった様な気がします。そんなこんなで、私も亡くなった父の会社で3年目の社長をさせて頂き、3人の息子の父親として現在があります。

※委員会報告は次号に掲載します。(週報担当：佐々木雅浩)